

各 位

上場会社名 株式会社明豊エンタープライズ  
 代表者名 代表取締役社長 梅木 篤郎  
 (JASDAQ コード 8927)  
 問合わせ先 取締役執行役員管理部長 安田 俊治  
 (電話番号 03 - 5434 - 7653)

平成 28 年 7 月期第 2 四半期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成27年9月14日に公表いたしました平成28年7月期第2四半期（平成27年8月1日～平成28年1月31日）連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 7 月期第 2 四半期連結業績予想値と実績値の差異  
 (平成 27 年 8 月 1 日 ~ 平成 28 年 1 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前回発表予想 (A)	1,800	120	160	160
<b>実績値 (B)</b>	<b>1,212</b>	<b>164</b>	<b>179</b>	<b>197</b>
増減額 (B - A)	588	44	19	37
増減率 (%)	32.7	36.7	11.9	23.1
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 7 月期第 2 四半期累計)	2,014	103	61	60

2. 差異理由

平成 28 年 7 月期第 2 四半期における、当社グループの主力事業である不動産販売事業においては、当初計画にて、第 2 四半期連結累計期間に販売を予定していた案件が、第 3 四半期連結会計期間以降に販売する見込みとなったことから、売上高が想定に対して 5 億 88 百万円下回る見通しとなりました。また、売上高の減少により営業利益が 44 百万円下回る見込みとなりました。

経常利益および四半期純利益は、売上高減少による影響により 70 百万円減少したものの、平成 27 年 10 月に(株)ハウスセゾンエンタープライズを連結子会社化したことにより、負ののれん発生益 4 百万円、預り金取崩益 26 百万円の発生により、それぞれ損失を吸収し、経常損失は 1 億 79 百万、親会社株主に帰属する四半期純損失は 1 億 97 百万円となりました。

以上の事由により、売上高、営業利益を下方に修正いたしております。

通期業績につきましては、平成 28 年 7 月期第 2 四半期の実績値と予想値との差異は生じたものの、第 3 四半期以降計画通り販売を進捗していることから、予想売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の予想数値は修正せず、据え置きといたしております。

上記の業績予想につきましては、本資料の発表時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因等により予想と異なる可能性があります。

以 上